

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 言語学

試験科目 言語学 科目

以下の問 1 から問 4 に答えなさい。答案用紙は 1 問につき 1 枚とします。

問 1

音素の認定に用いられる手法を例を挙げて説明しなさい。

問 2

以下の文 (1a) (1b) に対して、(2a) (2b) は、非文法的とまでは言えないにしても日本語として不自然です。また、(2a) と (2b) の意味的な関係は、(1a) と (1b) の意味的な関係と同じとは言えません。これらのことについて、なぜそうなのか、理由を説明しなさい。

- (1a) 母は私に本を渡した。
- (1b) 私は母に本を渡された。
- (2a) 母は私に本を読んだ。
- (2b) 私は母に本を読まれた。

問 3

2 つの言語が同系であることを示す方法について論じなさい。

問 4

以下の術語のうち 2 つを選び、それぞれ 4 行程度で説明しなさい。

- (i) 方言連続体 (dialect continuum)
- (ii) コードの切り替え (code-switching)
- (iii) 主要部 (head)
- (iv) 広母音 (open vowel)

次の問 1～問 6 の中から 4 問を選び、答案用紙に答えを書きなさい。答案用紙は 1 問につき 1 枚を使い、選んだ問題の番号を記入すること。

問 1

自分がお茶を入れた場合に、(1)「お茶が入りました」と言ってお茶を勧めたり、自分が壊したのではない場合に、(2)「すみません、お借りしたものを壊してしまいました」と申し出たりすることがある。自動詞と他動詞の基本的な違い、および、なぜ(1)(2)のような使い方がされるのかについて、説明しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 2

会話データを研究に用いる際、ロールプレイなどの「研究者が設定した場面での会話」を使う場合と、「日常生活で自然に生じた会話」を使う場合とでは、何がどのように異なる可能性があるか。それぞれの長所と短所を踏まえながら、具体例を挙げて説明しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 3

日本語の可能構文について、次の問いに答えなさい。

(2-1) 次の6つの可能構文を大きく2つに分類するとする。どのように分類されるか。あなたの分類を示しなさい。

- (1) 夏彦はモルモットが触れない。
- (2) ここから富士山が見渡せる。
- (3) 徹夜して、論文がやっと書けた。
- (4) 冬にはこの池でスケートができる。
- (5) 秋子は子供のころ人の心が読めた。
- (6) 今日はだるくてなかなか起きられなかった。

(2-2) 上のそれぞれのグループには、どのような意味的な特徴及び構文・形態的な特徴があるか、説明しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 4

会話における連鎖組織 (sequence organization) とは何か説明しなさい。その際、以下の 4 つの基本概念について具体例 (作例がかまいません) を挙げながら説明すること。

1. 隣接対 (adjacency pair)
2. 前方拡張 (pre expansion)
3. 挿入拡張 (insert expansion)
4. 後方拡張 (post expansion)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 5

Canagarajah (2006) は、言語教育について以下のような提言を行なっている。

- ・ ルールや慣習に焦点を当てるのではなく、コミュニケーションストラテジーに焦点を当てるようにする。それにより「正しさ」ではなく、実際の相手とのコミュニケーションでストラテジーを使い、協働的に目標を達成することに焦点を当てる。
- ・ ある言語を「マスターする」というよりも、学習者のもつ（ことばの）レパートリーを増やしていくようにする。そして、さまざまなコミュニティ、話者と関わっていく中で多様なバリエーションの中に存在する差異を読み解いていく感性、つまり、メタ言語意識を育てる。

上の提言にもとづいて、次の質問に答えなさい。

- (1) 「コミュニケーションストラテジーに焦点を当て」「『正しさ』ではなく、実際の相手とのコミュニケーションでストラテジーを使い、協働的に目標を達成することに焦点を当てる」言語教育が提案されているが、具体的にどのような授業タスクを実践すればこのような目標が達成できると考えられるか、自分の思うところを述べなさい。
- (2) 「さまざまなコミュニティ、話者と関わっていく中で多様なバリエーションの中に存在する差異を読み解いていく感性、つまり、メタ言語意識を育てる」という目標を達成するためには、具体的にどのような教育方法を実践すればよいと考えるか、自分の思うところを述べなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 6

現在、NHK ラジオでは日本に住んでいる外国人や子どものために「やさしいことばニュース」が放送されている。一般の成人日本人が聞くニュースと比べて、これにはどのような工夫が必要であるかを述べなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 応用日本語学

試験科目 科目

※以下の問題 1 は全員解答すること。解答はすべて別紙の答案用紙に日本語で記すこと。

問題 1 以下の (1) ~ (7) の中から 4 つを選び、説明せよ。その際、必要であれば具体例をあげること。

- (1) 自己研修型教師
- (2) パターン・プラクティス
- (3) ルーブリック
- (4) アウトプット仮説
- (5) CEFR
- (6) 音読みと訓読み
- (7) コード・スイッチング

※以下の問題 2 ~ 4 の中から 2 問を選び、解答すること。解答はすべて別紙の答案用紙に日本語で記すこと。答案用紙は 1 問につき 1 枚使用すること。答案用紙には、選んだ問題の番号を記入すること。

問題 2 第二言語習得研究における対照研究の目的と方法について述べよ。その際に、「転移 (transfer)」と「干渉 (interference)」についても、具体例をあげて説明せよ。

問題 3 日本語教育の現場では、限られた授業時間の中で、学習者に十分な日本語使用の機会を確保することが課題となっている。このような状況の中で、AIを活用した授業設計が試みられている。AIの導入が、日本語学習者の主体的な学びや日本語の運用能力の形成にどのような影響を与えられるかについて、自律学習、学習者オートノミー、自己調整学習のいずれかの観点から述べよ。

問題 4 日本語授業におけるアチーブメント・テスト (achievement test、到達度テスト) について述べよ。また、その方法として、主観テストおよび客観テストについて、具体例をあげて説明せよ。